

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	2783
平成18年度部名	経済部	課名	働く人支援課	課長名	鈴木 敏弘
平成19年度部名	経済部	課名	働く人支援課	課長名	鈴木 敏弘
事務事業名	伝統技能チャレンジャー事業				
予算上の事務事業名	伝統技能チャレンジャー事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			23240	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり				
施策名	第4施策 勤労者対策の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	伝統技能チャレンジャー事業実施要項				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	研修・講座	▼	5 事業開始年度	平成17年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
失業率の高い若者の就職と後継者不足に悩む伝統技能職などを結び付け、若者の就職促進と伝統技能の継承を図ることを目的に実施する	伝統技能職に興味があり、この分野で独立して活躍しようとする志を持つ概ね15歳から34歳までの者				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
・受入事業主	17団体				
・研修生	申込3名 研修実施2名(うち1名が職場体験型研修)				
・経費	102,960円(新聞折込広告料、職場体験型研修参加者保険料)				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	「大工育成塾」国土交通省所管の公益法人(財)住宅産業研修財団が主催。大工の棟梁に3年間弟子入りし、技術を身に付けていく。国からの補助金もある。				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	128	103	925	925
一般財源	0	128	103	925	925
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	986	986	986	986
事業コスト合計	0	1,114	1,089	1,911	1,911
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	伝統技能チャレンジャー事業			対象名称 と単位	雇用型研修参加者 (人)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	128	103	925	925
対 象 数	0	3	1	8	8
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	42,667	103,000	115,625	115,625
前 年 度 比		#DIV/0!	2.41	1.12	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	研修参加率（％）	指標式と指標の説明		研修参加者数 / 研修申込者数 * 100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	25.0	66.7		
目標	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	50.0	133.3		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	就職決定者率（％）	指標式と指標の説明		就職決定者数 / 雇用型研修参加者数 * 100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	33.3	0.0		
目標	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	66.7	0.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
C	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
有	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		研修生を受け入れる事業主の確保はできていたが、研修生の申し込みが少なく、研修の実施件数が伸びなかった。また、最終的に正式雇用には至る事例がなかった。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
研修生の対象範囲を広げるとともに、制度の周知を積極的に行い研修生の確保に努める。			研修生を確保するために、募集方法、募集範囲などの見直しをするとともに、事業のあり方についても検討していく。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業効果があがっていない。三年目である本年度の状況を踏まえ事業の見直しを行うこと。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			